

L R Tの整備効果の評価手法について

1 整備効果の評価手法について

(1) 定性的な評価

L R Tの整備により期待される効果について、どのような効果が発現するのか、定性的な評価を行う。

(2) 定量的な評価

整備効果については、可能な限り数値化するなど、わかりやすく示していくことが望ましいことから、定量化が可能な効果については、定量的な評価を行う。

⇒ これらの手法により整備効果の評価を行ったうえで、市民・町民等にわかりやすく示していくため、L R Tが整備されることにより「市民・町民の生活」がどのように豊かになるか、「まちの姿」がどのように変化していくか、生活シーンの変化のイメージ化を行うなど、示し方を工夫していく。

2 今後の取組について

L R Tの整備効果の評価手法等について、検討委員会等において意見を伺いながら、整備効果の適切な評価を行っていく。

(1) 定性的な評価

L R T事業の目的や必要性を踏まえたうえで、L R Tの整備によりどのような効果が発現するのか、それぞれの効果項目について、可能な限り客観性のあるわかりやすい表現により記述していく。

(2) 定量的な評価

定量化が可能な効果については、効果を数値化して示せる定量的な指標を設定し、数値化するための算出手法の検討や、算出にあたっての前提条件の整理等を行ったうえで、効果をわかりやすく定量化していく。